

大雨で九州や東日本を中心に、各地で災害や生活に影響があった 7 月でした

7 月、静岡県熱海市での土石流災害では大勢の方が犠牲となり、行方不明となっている方もまだ 6 名いるという大惨事となりました。蒸し暑いさなかに泥と汗にまみれながら風呂にも入れない状態で大変な思いをされていた方々を思うと心が痛みます。

また、九州宮崎・鹿児島、山陰の島根・鳥取九州地方を中心に記録的な大雨災害に見舞われました。

さて、ののかぜの子どもたちは、梅雨空の下でも雨さえなければプール、水遊びを楽しんで来ました。プール開きでかっぱさんたちに教えてもらった“かっぱ体操”で準備運動をし、プールに元気に入っているたんぽぽさんたちからそら・やまの子どもたち。プールに入りながら「かっぱ、かっぱ、かっぱっぱ〜、かっぱ体操 1. 2. 3〜♪」と歌っている幼児クラスの子どもたちもいます。やはり夏はプールですね。コロナや水の事故に気を付けながらこの夏を楽しんでいきたいと思っています。

**給食室にブラストチラーと電解次亜水生成装置を設置しました**

ブラストチラー、電解次亜水生成装置って言われても???の方がほとんどではないでしょうか? ののかぜ保育園を立ち上げる時にこの装置は設置したかったのですが、予算の都合上見送り、時期を見て設置予定でその場所（厨房エリア内）は作ってありました。で、昨年 5 月、赤い羽根共同募金に提案書を提出し、今年 3 月に補助が決定し（もちろん全額ではありません）設置の準備を進めて来ました。

まず、電解次亜水生成装置は簡単に説明すると、安全な消毒液作成装置で生野菜や果物などを殺菌しながら洗えることと合わせて、施設内の消毒液としても使用できます。原料は「水」と「塩」と「電気」のみで安全に次亜塩素酸ナトリウムの希釈液と同等なものが出来ます。

一方、ブラストチラーとは、加熱処理後の食材を急速冷却し食中毒の防止に役立ちこれを利用すると、スチームコンベクションやオーブンで加熱処理した野菜をオイルパンごとこの中に入れて冷却したり、ゼリーやわらび餅なども素早く作れます。 保育所給食を子どもたちに提供するには保健所からの厳しい指導もあり、生野菜などは使用せず、必ず加熱処理して提供する必要があります。これまで、一旦加熱したものを冷やすには水を使って冷やしていましたが、このブラストチラーで味を落とすことなく素早く冷やすことで細菌の増殖を防ぐことが出来るようになりました。ちなみに、保育園では必要ありませんが、作った食材を凍結することも可能です。

**「へいわ」ってどんなこと**

8 月 3 日（火）に子どもたちと「へいわ」について考え合う機会を計画しています。当日は、スライドや絵本、そして、“ぞうれっしゃ”や“みどり”など平和の歌を歌っていく予定です。

終戦から 76 年が経ち、近年戦争体験を語り継ぐ人たちが高齢化し、子どもたちにとって（大人も）戦争をイメージすることがだんだんと難しくなっています。そうした中、次の世代を生きる子どもたちに戦争の悲惨さを伝えていくことが大切だと思っています。



8 月 6 日、9 日は広島・長崎に原爆が投下されて多くの人たちの命が一瞬にして無くなりました。そして、8 月 15 日は終戦記念日です。多くの人を苦しみや悲しみに巻き込んだ戦争を二度と起こしてはなりません。戦争の放棄を謳った憲法 9 条を生かし、戦争のない平和な社会を子どもたち手渡していくことが私たち大人の役割です。